

もくじ

- ・ マルーシュカと 12 のつき

マルーシュカと  
12 のつき

げんさく： せかいのむかしばなし

イラスト： さくらい みゆき

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

むかし、ある むらに、マルーシュカという  
わかいむすめが いました。

マルーシュカは ままははと、  
その つれごの あねと、  
さんにんで くらしていました。

マルーシュカは、うつしくて きだてのよい、  
とてもよくできた むすめでした。

ままははと あねは そんなマルーシュカを  
ねたみ、そうじや せんたく、  
しょくじのようい、うしのちちしぼりに  
たきぎひろいまで、めんどうな しごとは、  
ぜんぶ マルーシュカに おしつけていました。

しかし マルーシュカは、  
もんくのひとつも いわず、  
まいにち いっしょうけんめいに、  
あたえられた しごとを こなしていました。



ある としのくれ、  
おうさまからの おふれのかかれた かみが、  
くにじゅうに くばられました。

そこには、こうかかれていました。

『わたしの むすめが、  
おもい びょうきに かかってしまった。  
むすめは いますぐに すみれのはなが  
みたいと いうている。この ゆきのなかから  
すみれのはなを みつけてきたものに、  
かごいっぱい の きんかをあたえる』

その おふれをした ままははと あねは、  
すぐに マルーシュカをよびつけました。

